

評価シート 様式

取組名	「大阪蔵屋敷ネットワーク」による北前船ルート地域活性化ビジネスモデル構築		
実施団体名	特定非営利活動法人大阪再生プラットフォーム	対象地域	大阪市(および最上川流域をはじめ、日本海や瀬戸内海等の北前船ルート各地域)
(代表団体名)		推薦団体名	大阪府、大阪市

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	「大阪蔵屋敷ネットワーク」による北前船ルート地域活性化ビジネスモデル構築		
実施団体名	特定非営利活動法人大阪再生プラットフォーム	対象地域	大阪市(および最上川流域をはじめ、日本海や瀬戸内海等の北前船ルート各地域)
(代表団体名)		推薦団体名	大阪府、大阪市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○先導性・モデル性 水運による歴史的な地域間のつながりを生かしながら、防災と商店街の再生といった政策課題への取組を「朝市・昼市」を通じて楽しみながら継続させていく仕組みを導入したという点で先導性・モデル性がある。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、水運による歴史的な地域間のつながりを生かしながら、防災と商店街の再生といった政策課題への取組を「朝市」を通じて楽しみながら継続させていく仕組みを導入という点で地域活性化に寄与する取組であると評価できる。今後、商品の交流拡大等収益源の確立と経済的自律性の確保を行いながら交流を継続するための核となる組織づくりに注力しつつ、地方の元気再生事業を継続することにより本格展開に向けて継続的な展開が期待できるものである。
	次年度以降の取組については、交流が継続できる持続的な組織の設立とその効果的な運営の検証に焦点を絞り、「水都2009」等の既存の団体の取組との連携を積極的に進め、活動の意義や交流の着実な浸透・定着を図るべきである。 具体的には、①蔵屋敷ネットワークの拡大、②ぼうさい朝市・昼市の取組については、本年の取組結果をふまえた効率的な運営方法の検証、蔵屋敷・蔵奉行の役割の明確化、防災ネットワーク協定の運用の具体化等に留意しつつ、展開の規模については、交流の持続性の検証に必要な箇所数に絞り込む必要がある。③有限責任事業組合(LLP)の設立については、持続的取組の核となる取組であり、確実に実施する必要がある。